

林業相談

ポプラの枝打について

問 屋敷林として植えたポプラがだいぶ大きくなったので枝打を行ないたいと思います。その方法と時期についてお知らせ下さい。(空知管内A生)

答 最近、米の減反の影響もあって、ポプラを植栽する農家が増えてきたようであるが、材質を高めるために行なう枝打も、方法が適当でないとかえって材の価値を減ずることがあるので、注意を要する。つぎに述べるものはポプラの枝打の一般的な基準であるが、実施に当っては木の生育状況や土壌を勘案して行なう必要がある。

枝打の程度(伐期は15～20年とした場合)

- (1) 1～3年 不定芽や不定枝を除くにとづめ枝打は行なわない。
- (2) 4～5年 樹高の $\frac{1}{2}$ までの枝打を行なう。
- (3) 6～7年 樹高の $\frac{1}{2}$ までの枝打を行なう。
- (4) 9～10年 樹高の $\frac{1}{2}$ までの枝打を行なう。

ポプラはその強健性と生長迅速性のために、枝打による被害は他の樹種に比べてずっと少ないが、それにもかかわらず植栽後2～3年は枝打を避けなければならない。この時期に節ができて幹の中心部に残って材質を著しく低くするからである。

強度の枝打は肥大生長を阻害するが、上長生長にはほとんど影響がない。しかし強度の枝打は不定芽の発生を多くする。発生した不定芽は遅くとも2年目までに除去すべきで、作業の容易さからいって、なるべく芽の出た最初の年に取り除くことをおすすめしたい。

枝打の時期

枝打の最良の時期は冬の終りである。この時期に枝打すれば傷は生長の初期になおり始めるし、凍結の害もまぬがれる。しかし厳しい寒さの恐れのないところでは、秋末から冬期間にかけての休眠時でもよいようである。夏の枝打は不定芽の発生を少なくする利点はあるが、切り口が腐朽しやすいのであまり感心できない。

枝打用具

枝打の道具として一般的に使われるものとしては、鋏、ナタ、鋸などがある。細枝を切るときは鋏を使用する。ナタを用いるときは一撃で切り落そうとするとしぼしば幹を割くことがあるので、始め上に向かってナタの敷撃を加えてから下に向かって切り落すようにする。

枝が太い時は鋸を用いるとよい。これは切り口が粗雑になる嫌いはあるが、未熟練者でも容易に早く仕事ができる利点がある。

このほかツリーモンキーといって、幹の下部に取り付けると自動的に枝を切り落しながら指された高さまで登り、またひとりで降りてくるというドイツ製の機械があるが、価格が40万円もすることと重さが50kgもあって扱うのに人手を二人要することからまだ一般的とは言えないようである。

(造林科 足立 鎮雄)